

台湾留学 REPORT

💡 児童と家庭研究学科 で勉強

中 国文化と西洋文化のどちらも学びたいと考え、台湾に留学しました。私が入学した輔仁大学の一般教養科目には、中国伝統文化の書道、占いから西洋医学まで多彩な科目が開講されていて、両文化に触られます。輔仁大学はローマカトリック教皇庁により設立されたため、世界中どこに行っても名前が通じます。

い ろんな方面で留学生へのサポート体制が整っていて、たとえば無料で中国語のチューターをつけることができるプログラムなどは大変ありがたく活用させていただきました。

慣 れない環境での生活や勉強でのストレスに負けそうになったときは、国家資格を持ったカウンセラーに相談にのってもらえるサービスも用意されていて、精神面でのサポートも万全です。



Reporter : 高橋 麻優美 さん

身 体面では、輔仁大学には診療所と大学附属病院の両方があり、保険適用内であれば輔仁学生として診察が受けられます。特に診療所は1回の診察料が50元という安さで、一般的な学外の診療所の3分の1の負担で済み、経済的にも助かっています。



▲ドラゴンボートフェスティバルで「ちまき」をつくる

台湾の大学に 在籍する 多様な国の 学生たち

Bilig-Orshikh NATSAGDORJ

モンゴル 🇮🇲

輔仁大学中国語センター1年半 / 経営管理部

台湾の大学環境は、とても快適で安全です。学校のお祭り、クリスマスイベント、留学生を迎えるイベントは素晴らしいです。新しい友だちをつくりやすい環境で、台湾について学ぶのは簡単です。学校が主催する文化体験活動や企業訪問も、非常に興味深いものです。



Christu Raja

インド 🇮🇳

国際経営管理修士

台湾の大学は、設備や安全性などを含めて世界でもトップクラスだと感じています。教授は豊富な知識と業界経験を持っています。留学生を迎えるイベントは、台湾の歴史・文化を学ぶのにも役立ちます。地域に有意義なサービスを提供できる機会もあり、実践的に知識を深められます。





大学では、実際に業界で働いている人たちが講師として授業をさせていただきます。社会人になってからだと、お金を払って時間を探して自分からセミナーに参加して…そのようなハードルを越えてやっと聞くことができる話を、大学の授業の中で簡単に聴講できるのは貴重な環境です。

教科書の多くは、英語で書かれています。私の学科では「教授の言葉が中国語」「教科書は英語」という授業が多いので、問答無用で両方の言語を勉強することになります。ふたつの言語で専門用語を学習できるのも大きなメリットだと感じています。

私が感じている留学の最大の収穫は、台湾でできた友だちです。外国籍の学生も数多くいるので、様々な文化や価値観を知ることができ、刺激的です。

台湾留学 REPORT

テキストと衣類マーケティング学科で勉強

台湾は「テキスタイルのシリコンバレー」と呼ばれていて、アディダスやナイキなどの有名なブランドが台湾でテキスタイルを製造しています。そのような環境で、テキスタイルを含めたアパレルに関して勉強することに価値を感じて、台湾への留学を決意しました。

Joelle Andree Therese SCHMIDT フランス 

輔仁大学交換留学生1年 / 中国語センター1年 / フランス語と文学の修士

伝統的な中国語を学びたいと考えて、台湾に留学をしました。大学では国際的な友だちがたくさんできました。毎年1月にはインドでのバンゴル・フェスティバルのほか、ポーランド、インドネシア、フィリピンでの文化活動が行われます。また、私が留学している輔仁大学は台湾でも数少ないクリスマスホリデーがある学校のひとつで、キャンパス内ではクリスマスマーケットもあり、雰囲気は抜群です。学期当初にはダンス・音楽・写真・スポーツ・動物愛護クラブなどのクラブフェアがあります。台湾の学生は、いつも私たちが歓迎してくれます。将来的には、フランスと中国文化圏の人々がお互いを理解できるような仕事に就きたいと思っています。



今回話を聞いた
学生たちは
22ページの輔仁大学
に在籍しています